

## 国

税庁の「平成25年分民間給与実態統計調査」によると、1年を通じて勤務する男性の平均年収が511万円であるのに対し女性は272万円と、男性の半分程度しかない。

しかし、同じ年収の男女についてそれぞれ何時間働いているかで考えると、世界が違って見える。下の図は、年収区分ごとに男女が週何時間働いているかを見たものである。

一般的な正社員のボリュームゾーンと考えられる年収250万円から599万円までの範囲で見ると、男性の就業時間が週53時間ほどであるのに対し、女性は週44時間ほどと実に約9時間も短い。時間当たりに直せば女性は男性より2割ほど多く収入を得ている計算になる。

短時間で働いているのは、家事や育児を主体的に担っている（あるいは、担わされている）ことのも裏返しでもある。年収250万円から599万円の女性は、家事・育児等に週15時間ほどを充てており、これは同じ年収の男性より約11時間も長い。

## 数字は語る

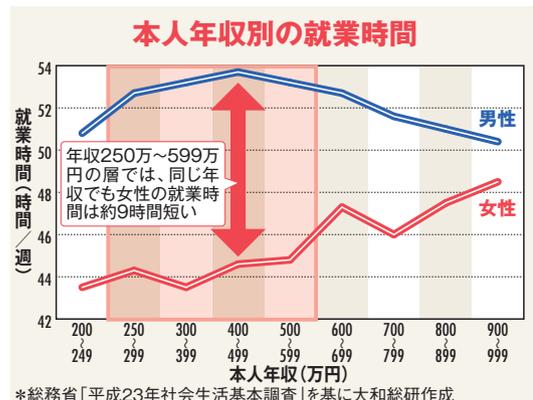
大和総研金融調査部  
研究員  
是枝俊悟

## 短時間で同じ収入を稼ぐ 女性の働き方から 男性が学べるものがある

# 週44時間

### 年収250万～599万円の女性の週当たり就業時間

総務省「平成23年社会生活基本調査」



すなわち、家事・育児の時間を確保するために働く時間をセーブしながらも、男性と同等の収入を得ている女性が相当数いるのだ。結婚・出産を経ても働き続けている女性からは、時間内に仕事を終わらせるため、また、他の社員に円滑に仕事を引き継げるよう、さまざまな工夫をしているとの話をよく聞く。

保育所の迎えにと足早に職場を出る女性社員を見掛けたら、眉をひそめる前に、どうやったら早く仕事を終わらせるのか教えてもらった方がいいかもしれない。